

IMFの世界経済見通し

～不確実性を伴いながらも緩やかな景気回復を維持

楽読(ラクヨミ)

IMF(国際通貨基金)は1月16日に最新の世界経済見通しを発表し、世界の成長率予測を2017年は3.4%、2018年を3.6%とし、昨年10月の見通しを据え置きました。

先進国の成長率予測は、2017年が1.9%、2018年が2.0%と共に上方修正されました。米国がトランプ次期政権のもとで減税や拡張的な財政政策を講じるとの見通しから、2017年の成長率が2.3%に、2018年についても2.5%と上方修正されたことが背景と考えられます。ただし、トランプ次期政権については、保護主義的な貿易政策などの不確実性が高いことから、IMFはリスク要因の上下の振れ幅が通常より広いと指摘しています。ユーロ圏については、国によってばらつきがあるものの、ドイツなどの中核国で成長が見込まれるとして、2017年予測がわずかながら上方修正されています。英国については、2017年予測が上方修正されましたが、2018年はEU(欧州連合)離脱選択による景気押し下圧力が表面化するとみて下方修正されました。日本については、円安による企業業績の上振れなどを背景に2017年の成長率は0.8%に上方修正されましたが、2018年は0.5%にとどまるとされています。

新興国については、2017年の成長率予測が4.5%へ下方修正されました。ただし、市場で景気減速が懸念されている中国については、政府の景気刺激策が続くとの見方から、2017年の成長率が6.5%と上方修正されています。一方、インドについては、2017年の予測が7.2%に下方修正されました。これは政府が高額紙幣を廃止した影響で、一時的に消費が低迷することが影響していると考えられます。メキシコについては、米国に関連した不確実性を理由に2017年の成長率が1.7%と大きく下方修正されました。

IMFは今後のリスクとして、保護主義的な政策や金融情勢の引き締め、地政学的な緊張激化のほか、中国の景気減速懸念などを挙げているものの、世界経済が先進国を中心に緩やかな景気回復を維持すると予想していることは、投資家心理にプラスに働くと期待されます。

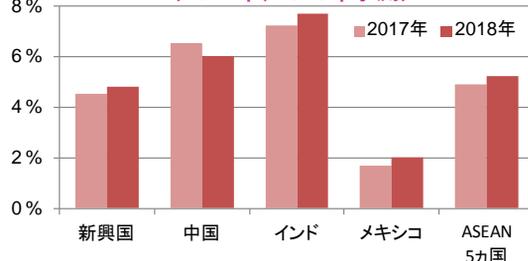
IMFの世界経済見通し

<白背景部分は2016年10月時点の予測との比較(%ポイント)>

	2015年	16年推計	17年予測	18年予測	17年予測	18年予測
世界	3.2%	3.1%	3.4%	0.0	3.6%	0.0
先進国	2.1%	1.6%	1.9%	0.1	2.0%	0.2
米国	2.6%	1.6%	2.3%	0.1	2.5%	0.4
ユーロ圏	2.0%	1.7%	1.6%	0.1	1.6%	0.0
ドイツ	1.5%	1.7%	1.5%	0.1	1.5%	0.1
フランス	1.3%	1.3%	1.3%	0.0	1.6%	0.0
イタリア	0.7%	0.9%	0.7%	-0.2	0.8%	-0.3
スペイン	3.2%	3.2%	2.3%	0.1	2.1%	0.2
日本	1.2%	0.9%	0.8%	0.2	0.5%	0.0
英国	2.2%	2.0%	1.5%	0.4	1.4%	-0.3
カナダ	0.9%	1.3%	1.9%	0.0	2.0%	0.1
新興国	4.1%	4.1%	4.5%	-0.1	4.8%	0.0
中・東欧*	3.7%	2.9%	3.1%	0.0	3.2%	0.0
ロシア	-3.7%	-0.6%	1.1%	0.0	1.2%	0.0
アジア	6.7%	6.3%	6.4%	0.1	6.3%	0.0
中国	6.9%	6.7%	6.5%	0.3	6.0%	0.0
インド**	7.6%	6.6%	7.2%	-0.4	7.7%	0.0
ASEAN5カ国***	4.8%	4.8%	4.9%	-0.2	5.2%	0.0
中南米ほか	0.1%	-0.7%	1.2%	-0.4	2.1%	-0.1
ブラジル	-3.8%	-3.5%	0.2%	-0.3	1.5%	0.0
メキシコ	2.6%	2.2%	1.7%	-0.6	2.0%	-0.6
中東・北アフリカほか	2.5%	3.8%	3.1%	-0.3	3.5%	-0.1
サハラ以南のアフリカ	3.4%	1.6%	2.8%	-0.1	3.7%	0.1
南アフリカ	1.3%	0.3%	0.8%	0.0	1.6%	0.0

(出所: IMF「World Economic Outlook Update, January 2017」)

※上記は過去のものおよび予測であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

主な先進国の経済成長率
(2017年、2018年予測)主な新興国の経済成長率
(2017年、2018年予測)

*ロシアなど、CIS(独立国家共同体)構成国を含まない

**年度ベース(上記各年の4月から翌年3月まで)

***インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム